



令和7年3月13日  
市民局地域防災課

市政記者各位

## 福岡県西方沖地震から20年 福岡市防災訓練@玄界島等のお知らせ

平成17年3月20日に発生した福岡県西方沖地震から、今年で20年の節目を迎えます。

福岡市では、地震の記憶と経験を風化させないために、3月20日を「市民防災の日」と定め、市民の皆様にあらためて災害への備えについて考えてもらう機会としております。

20年の節目となる今年は、講演会の開催や特設サイトの開設のほか、「福岡市防災訓練@玄界島」や「とつぜんはじまる避難訓練」など様々な催しを行いますので、取材等をよろしくお願いたします。

記

### ■ 福岡市防災訓練@玄界島

- (1) 概要 福岡県西方沖地震で被害を受けた玄界島において、市、地域、関係機関等が一体となった訓練を実施するとともに、広く市民に発信し、防災意識の高揚を図るもの。
- (2) 日時 令和7年3月20日(木・祝) 10:00~13:30頃  
※当日9:30から現地にて報道関係者様向けに事前ブリーフィングを行います。
- (3) 会場 西区玄界島(玄界復興記念公園、玄界公民館等)
- (4) 参加者 福岡市(訓練本部長 高島市長)、地域住民、陸上自衛隊(第4師団、第19普通科連隊)、福岡海上保安部、福岡県警、福岡管区気象台等(12機関)
- (5) 主な訓練内容
  - ・避難訓練(住民・気象台)
  - ・避難所開設訓練(住民)(簡易トイレ【T】・簡易ベッド【B】の設置)
  - ・給食訓練(住民・自衛隊)【K】  
(T:清潔なトイレ、K:温かい食事、B:心身休まる生活空間)
  - ・救出救助訓練(玄界水上分団・自衛隊・県警・消防局)
  - ・インフラ応急復旧訓練(通信事業者・水道局)
  - ・資機材搬送訓練(自衛隊・ドローン事業者)
  - ・島外避難訓練(自衛隊・海上保安部・県警・消防局・港湾空港局)
  - ・防災アプリ「ツナガル+ (プラス)」体験訓練

### ■ LINEで「とつぜんはじまる避難訓練」

- (1) 概要 LINEヤフーコミュニケーションズと共働して、「LINE」だけで・どこにいても・3分でできるオンライン避難訓練「とつぜんはじまる避難訓練」を実施  
(事前に参加登録をした人に、実施期間中、抜き打ちで訓練開始の通知が届き、避難時の行動や近くの避難所の確認など、LINE上で手軽に行う避難訓練)
- (2) 参加登録 3月13日(木)~3月27日(木) ※期間中に特設ページから参加登録
- (3) 実施期間 3月20日(木・祝)~3月31日(月)

※詳細は別添①参照





## ■ 「みんなで防災」2025 in 新天町

- (1) 日 時 令和7年3月20日(木・祝) 13:00~16:00
- (2) 場 所 新天町サンドーム(中央区天神二丁目8)
- (3) 概 要 市の防災アプリ「ツナガル+(プラス)」の操作体験や市水道局による給水体験、博多あん・あんリーダー会による非常持出品の解説などの防災イベントを実施  
※福岡市と博多あん・あんリーダー会の共催イベント

## ■ SNSを活用した啓発

- (1) 日 時 令和7年3月20日(木・祝) 9:00
- (2) 概 要 「福岡市防災メール」、「福岡市LINE公式アカウント(防災)」及び「防災アプリ『ツナガル+(プラス)』」登録者に対して、「市民防災の日」のお知らせとともに、防災意識の啓発メッセージを配信

## ■ 消防分団車庫のサイレン一斉吹鳴

- (1) 日 時 令和7年3月20日(木・祝) 10:53(約10秒間)
- (2) 場 所 各消防分団車庫
- (3) 概 要 地震発生時刻に合わせた消防分団車庫のサイレン一斉吹鳴

## ■ 「市民防災の日」に来て！見て！体験！消防たい(隊)in 市民防災センター・

### 早良消防署

- (1) 日 時 令和7年3月20日(木・祝) 10:00~13:00(開場 9:30)
- (2) 場 所 福岡市民防災センター・早良消防署(早良区百道浜一丁目3)
- (3) 概 要 災害に備えるためのイベントを開催します。パネル展示や子育て世代向けの講習、救助隊訓練展示、音楽隊の演奏など楽しいコンテンツが盛りだくさんです。

## ■ 令和6年度「市民防災の日」講演会 ※再掲(2/21プレスリリース済)

- (1) 日 時 令和7年3月20日(木・祝) 13:30~16:30(開場 13:00)
- (2) 会 場 エルガーラ福岡 8階大ホール(中央区天神一丁目4-2)
- (3) 概 要 災害を教訓として日常から防災について考える講演会を開催

※詳細は別添②チラシおよび市ホームページ参照



### 【お問合せ先】

- ① ②③以外に関すること  
市民局地域防災課 小川、杉谷、矢野  
TEL: 711-4156(内線1788)
- ② 消防分団車庫のサイレン吹鳴に関すること  
消防局警防課 山脇、平嶋  
TEL: 725-6551(内線6554)
- ③ 体験！消防たい(隊)に関すること  
消防局予防部防災センター 林  
TEL: 847-5990(内線7130)

# LINE ヤフーコミュニケーションズと福岡市、 「LINE」だけで・どこにいても・3分でできる避難訓練を 市民防災の日に合わせて共働実施

福岡県西方沖地震から20年の節目、抜き打ちのオンライン避難訓練で予期せぬ災害に備える  
～調査では福岡県民の61%が防災対策不足を実感、防災の優先度の低さが浮き彫りに～

LINE ヤフーコミュニケーションズ株式会社（本社：福岡市博多区、以下当社）は、福岡市と共働し、コミュニケーションアプリ「LINE」（以下、「LINE」）の機能を活用したオンライン避難訓練「とつぜんはじまる避難訓練」を実施します。本訓練は、福岡市 LINE 公式アカウントだけで完結する3分でできるオンライン避難訓練です。2020年に続き2回目の実施で、前回実施時には14,000人以上が参加登録、参加者の93.8%が「防災意識が向上した」と回答しました。今年、福岡県西方沖地震から20年となる節目に本訓練を再び実施し、福岡市民の防災意識向上と、災害時における福岡市 LINE 公式アカウントの活用方法を広く周知することを目指します。

特設ページ：<https://fukuoka-bousai2025.com>

LINEヤフー  
コミュニケーションズ

## ■「とつぜんはじまる避難訓練」実施概要

実施期間：2025年3月20日（木・祝）～2025年3月31日（月）

通知時間：8:30-21:00の間で通知が届きます

参加登録期間：2025年3月13日（木）～2025年3月27日（木）

対象者：どなたでも参加可能

※福岡市 LINE 公式アカウントを友だち追加し、訓練参加の登録をした方に通知が届きます。

実施時間：3分程度

参加特典：避難訓練に参加した人全員にシェアサイクルサービス「チャリチャリ」のライドチケット（最大12分相当）をプレゼント

※ベーシック利用の場合 ※電動アシストの場合5分相当 ※ライドチケットは最大90円割引チケットとなります

※皆さまにプレゼントできる十分な数をご用意しておりますが、想定以上の多くの皆さまにご参加いただいた場合、上限数に達し次第終了となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

企画協力：チャリチャリ株式会社、JR九州ビルマネジメント株式会社、福岡市科学館

※企画趣旨に賛同し、福岡市民の防災意識向上を目指すため、本訓練の周知や参加特典の提供等を通じて企画協力。

特設ページ（参加登録はこちらから）：<https://fukuoka-bousai2025.com>



▲PR動画

### <本件に関するお問い合わせ先>

LINE ヤフーコミュニケーションズ株式会社

TEL：092-292-3573 E-mail：[dl\\_lycomm\\_mediacontacts@linecorp.com](mailto:dl_lycomm_mediacontacts@linecorp.com) 広報：松田（070-3228-1937）

## ■オンライン避難訓練「とつぜんはじまる避難訓練」とは

### 特徴 1. 普段使う「LINE」だけで・どこにいても・3分でできる避難訓練

本訓練は、福岡市 LINE 公式アカウントだけで完結するオンライン避難訓練です。最優先に取り組むべき、自身の命を守るための防災対策である「災害時の行動確認」や「避難所の確認」を、通常のメッセージ同様にトーク形式で進めることができ、訓練終了までの時間はおよそ3分です。今回は、避難行動をイラストでより簡単に確認できるようにリニューアルし、いつも使っている「LINE」で、いつものトークのように防災対策を行えます。



### 特徴 2. 「突然」の災害に備える避難訓練

本訓練では、事前に参加登録を行ったユーザーに対し、訓練実施期間中のどこかで一度、地震発生を想定した訓練の開始通知が福岡市 LINE 公式アカウントを通じて送信されます。通知がいつ届くかは、予告されません。

さらに、位置情報を送信することで、指定した場所から半径 1km 以内の避難所を自動検索する機能、その避難所を「LINE」の友だちにシェアする機能を体験できます。この機能は、実際の災害時にも福岡市 LINE 公式アカウントで利用できます。

災害は突然発生し、冷静な避難行動が求められます。予期せぬ状況においても自分の身を守る行動を取れるよう、本訓練は実際の災害時と同様に突然始まり、実際の災害時に利用できる機能を体験していただきます。

### 特徴 3. 平常時と災害時、どちらも利用できる「福岡市 LINE 公式アカウント」

本訓練を実施する福岡市 LINE 公式アカウントでは、普段の生活に便利な機能が備わる中、福岡市が発表する災害情報を受け取れる機能や、災害時の避難行動をサポートする「災害時モード」に切り替わる機能など、災害に対応した機能も実装されています。

現在、9,700 万人(\*)が利用している「LINE」は、災害発生時に家族や友人など大切な人との連絡手段として機能するだけでなく、各自治体から発信される正確な情報を受け取るためのツールでもあります。日常的に利用している「LINE」だからこそ、災害時にも冷静に、必要な情報を迅速に確認・共有することが可能です。このような背景から、平常時、災害時を問わず利用できる「LINE」を活用したオンライン避難訓練を実施しています。

※2024 年 9 月末時点

### ■実施背景

今年は、警固断層帯北西部を震源として発生した福岡県西方沖地震から 20 年となる年です。警固断層帯は「北西部」と「南東部」に分かれ、「南東部」は志賀島南方沖から筑紫野市にわたる約 27km の活断層です。この活断層が一度に揺れると、マグニチュード 7.2 程度の地震が発生する可能性があります。

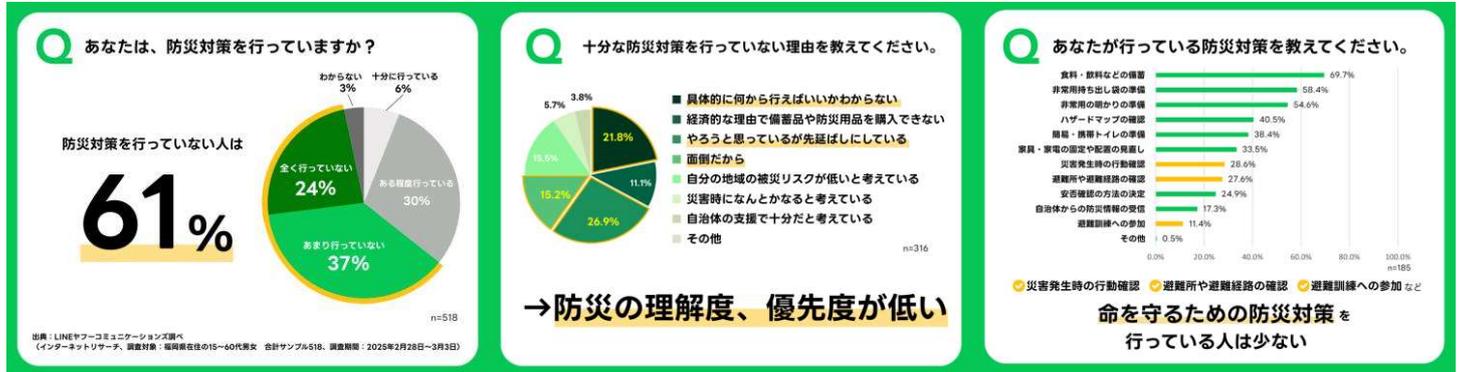
災害への備えの重要性が高まるなか、福岡県西方沖地震発生から 20 年を迎える節目の年として、市民が防災に対して当事者意識を持って取り組むことのできるタイミングだと考えています。防災は重要だと思いつつも防災の優先度が低くなってしまおうという現状を踏まえ、普段使う「LINE」だけで手軽に参加できるオンライン避難訓練を実施します。



【参考：調査内容】（調査方法：インターネットリサーチ、調査対象：福岡県在住の15～60代男女 518人、調査期間：2025年2月28日～3月3日）

当社が実施した福岡県民518名が対象のインターネット調査によると、防災対策ができていないと感じる人は61%にのぼり、「やろうと思っているが先延ばしにしている」「具体的に何から行えばいいかわからない」「面倒」など、十分に防災に取り組みしていない、防災の優先度が低い人が半数を超えるという結果が見られました。

さらに、同調査にて、実施している防災対策を質問したところ、「食料・飲料などの備蓄」「非常用持ち出し袋の準備」など被災後の生活に対する備えは比較的行われている一方、「災害発生時の行動確認」「避難所や避難経路の確認」など、発災時に最優先に取り組むべき、命を守るための防災対策に取り組んでいる人は少ないという結果が見られました。



■六本松 421、防災を身近に感じてもらうイベント「WITH BOUSAI」フェアを実施

本企画の主旨に賛同した六本松 421（運営会社：JR九州ビルマネジメント株式会社、本社：福岡市博多区）と共同し、訓練の実施にあわせ、「WITH BOUSAI」フェアを開催します。このフェアでは、対象店舗により防災関連商品の特設コーナーが設置され、福岡市科学館では福岡県西方沖地震に関する展示を行います。

また、フェア開催期間中の3月20日（木・祝）には、本訓練の参加登録者を対象に、防災備蓄品のプレゼントや、抽選で福岡市科学館の基本展示室特別入場引換券をプレゼントするキャンペーンを実施します。

日常生活で訪れる馴染みある場所でのフェアを通じて、自分自身や家族、友人など大切な人と一緒に防災について考える機会を提供したいと考えています。



【「WITH BOUSAI」フェア実施概要】

実施期間：2025年3月17日（月）～2025年3月21日（金）

場所：六本松 421（福岡県福岡市中央区六本松4丁目2-1）

参加店舗・施設：福岡市科学館、ボンラパス トレゾ、牛島製茶、ドラッグイレブン、六本松 蔦屋書店

プレゼントキャンペーン実施日時：2025年3月20日（木・祝）10:00～17:00 ※無くなり次第終了

プレゼントキャンペーン開催場所：六本松 421・1階エレベーター横

<参考>

・14,857人が参加登録！LINEを使った福岡市オンライン避難訓練「とつぜんはじまる避難訓練」実施レポート

<https://lycomm.co.jp/ja/pr/news/2020/092310>

<会社概要>

社名：LINE ヤフーコミュニケーションズ株式会社

本社所在地：福岡県福岡市博多区博多駅中央街 8-1 JRJP 博多ビル 12F

代表者：代表取締役社長 CEO 鈴木 優輔

資本金：490 百万円（2024 年 4 月時点）

設立日：2013 年 11 月 18 日

社員数：1,650 名（2024 年 4 月時点、LINE ヤフーからの出向社員含む）

関連拠点：LINE ヤフー株式会社 八戸センター、紀尾井町オフィス、高知センター、北九州センター、大分センター、那覇センターなど

主な事業内容：LINE ヤフーが展開するサービスの運営・カスタマーサポート・クリエイティブ・事業企画など

Web URL：<https://lycomm.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

LINE ヤフーコミュニケーションズ株式会社

TEL：092-292-3573 E-mail：[dl\\_lycomm\\_mediacontacts@linecorp.com](mailto:dl_lycomm_mediacontacts@linecorp.com) 広報：松田（070-3228-1937）

福岡県西方沖地震～あれから **20** 年～

令和 6 年度

# 市民防災の日

## 講演会

**入場  
無料**

令和 7 年

**日時** **3/20** **木・祝**

13:30 ~ 16:30

**会場** エルガーラ福岡  
8階 大ホール

中央区天神1丁目4番2号

入場無料

要申込み

先着 600 名

&gt;&gt;&gt; &lt;&lt;&lt;

今年は、平成 17 年 3 月 20 日に発生した福岡県西方沖地震から 20 年の節目の年です。

福岡市では、この記憶と経験を風化させることなく災害に備えるため、3月20日を「市民防災の日」と定めています。

「市民防災の日」をきっかけに、あらためて災害への備えについて考えてみましょう。

&gt;&gt;&gt; &lt;&lt;&lt;

【総合司会】

 FBS 福岡放送アナウンサー  
若林麻衣子 氏

**第 1 部 基調講演**

13:40 ~ 14:40

 福岡県西方沖地震から 20 年  
『これまで』と『これから』

**【講師】** 関西大学社会安全学部  
特別任命教授 河田恵昭 氏

SASAKAWA 防災賞（防災分野のノーベル賞に相当）の日本唯一の受賞者であり、現在は、阪神・淡路大震災をきっかけとして設立された「人と防災未来センター」長を兼務して、国内外で活躍されています。著書「これからの防災・減災がわかる本」は、防災の入門書として広く読まれています。


**第 2 部**

パネル

ディスカッション

14:55 ~ 16:25

 日頃の備えは大丈夫？  
～災害から学ぶ防災～

【モデレーター】

FBS 福岡放送アナウンサー 若林麻衣子 氏

【パネリスト】

 関西大学社会安全学部  
特別任命教授

河田恵昭 氏

博多あん・あんリーダー会 会長

因幡那水 氏

読売新聞西部本社

高橋淳夫 氏

元熊本市政務局長

古庄修治 氏

福岡大学学生団体

みらプロ

**定員：先着 600 名（要申し込み）※詳細は裏面をご確認ください。**
**〈主催〉 福岡市**
**お問合せ**

市民局防災・危機管理部地域防災課

TEL：092-711-4156

MAIL：bousai01@city.fukuoka.lg.jp

# 会場案内



エルガーラ福岡  
8階 大ホール  
中央区天神1丁目4番2号

## 交通機関でのアクセス

地下鉄空港線天神駅より徒歩約5分  
地下鉄七隈線天神南駅より徒歩約1分  
西鉄福岡(天神)駅より徒歩約3分

## お車でお越しの場合

地下4・5階の有料駐車場スペース  
(240台収容)もしくは、  
近隣の有料駐車場をご利用ください。  
**(駐車料金は自己負担となります。)**

# 申込み 締切：3/14(金)

以下いずれかの方法で、①氏名②電話番号をご記入のうえ申込みください。

- F A X : (092) 733-5861
- メール : bousai01@city.fukuoka.lg.jp
- 右記「申込みフォーム」からもお申込みいただけます。

※定員を超えたために、申込みをお断りする場合、もしくは、  
中止の場合以外は連絡いたしません。



お持ちのスマートフォンで  
読み込んでください。

オンラインでも後日配信しますので、ご来場が難しい方は、インターネットでご視聴ください。  
視聴用 URL は後日、市ホームページへ掲載します。

※申込み不要

福岡市 市民防災の日講演会



..... キリトリ不要 .....

※ F A X で申込みの際は、本紙をご利用ください。

市民局 防災・危機管理部 地域防災課 宛

## 令和6年度「市民防災の日」講演会参加申込書

ふりがな	
氏名	
電話番号	